

第2回教育文化専門委員会での主な意見

(高等学校の再編)

- ・高等学校の再編で、鶴岡市では特に加茂水産高校と庄内農業高校の問題が大きい。

(特別支援教育)

- ・特別な支援が必要な生徒の進学先が課題である。
- ・特別な支援が必要な子どもたちについて、毎年1.5%、20人くらいが高校を中途退学しており、10年経ってそういった人が200人、300人となっていくと、将来的に鶴岡市にとっての大きな不安定要素、課題となるのではないか。
- ・特別な支援が必要な子どもの進む先として高等養護学校があるが、定員が20人しかない。飽海や最上からも人を受け入れている。鶴岡は特別支援学級だけで30人くらいいるので、その子どもたちの進む先がなくなってしまうという実態がある。
- ・現在、山添高校が特別支援についてとてもよく面倒を見てくれているが、26年で募集停止、28年でなくなってしまう。特別な支援が必要な子どもたちの学習の場を保証するような再編をするのがこれからの鶴岡にとって大切なことなのではないか。

(オリンピック合宿所誘致)

- ・東京オリンピックの際に鶴岡で外国の選手団がキャンプを張るといような体制づくりが、スポーツの振興や国際交流の仕方にも考えられるのではないか。もし目指すのであれば今から声をかけていかないとなかなか難しいのでは。
- ・オリンピックに関して、国際的なキャンプを持ってくるとなるとそれに見合う施設が必要になってくる。現状、老朽化しているので修繕をしてかないと呼びかけをするにしても難しいのではないか。

(国際大会の誘致)

- ・国際大会のようなものが一つでも来ると、選手の見方や考え方が違ってくるのではないか。すごくいい勉強にはなると思う。

(教育相談体制)

- ・中学校で不登校等の問題が解決した子どもが、高校でまた元に戻ってしまうことが少なからずある。高等学校においても状況を踏まえた対応をお願いしたいところであり、教育相談体制の整備を推進すると書いていることは大変ありがたい。